

☆テーマ

『チャレンジの過ごしやすい町を目指そう！』

1

チャレンジとは？



「神様に与えられた困難に挑戦するもの」という意味。
障がい者をポジティブに表現した言い方。

2

☆現状 ①

- 五ヶ瀬町の少子高齢化が進む中で、農家数が600戸近くある。その一方で、50代以上が、農業者数の9割を占めている。

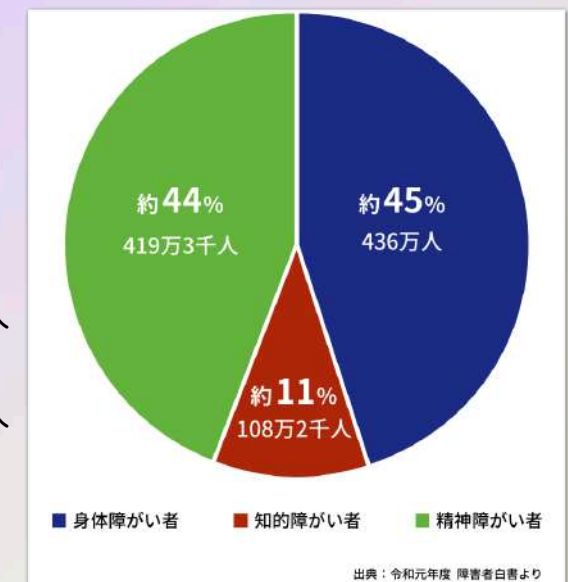
	農家数(戸)		農業者数(人)
総農家数	598	農業就業者数	641
自給的農家数		女性	286
販売農家数	390	40代以下	67
主業農家数	127		
準主業農家数	89		
副業的農家数	174		

<https://www.town.gokase.miyazaki.jp/material/files/group/6/R03-2.pdf>

3

☆現状②

- 日本には、936万人のチャレンジとされる人がいる。
「障がい」は「身体障がい」→約436万人
「知的障がい」→約108万2千人
「精神障がい」→約419万3千人
の3つに区分される。



4

☆仮説

チャレンジドに焦点をあてて、
五ヶ瀬を満喫できる環境をつくれ
ば、五ヶ瀬が活性化するだろう。

5

【チャレンジドに焦点をあてる良い点】

緑の木々や草花には見ることによっ
て、無意識にストレスや緊張を軽減す
る効果や目の疲れを癒す効果がある



五ヶ瀬の自然によって障がい者が自律
していく中で抱えるストレスを解消す
ることができる。

6

《日融工房》

五ヶ瀬町で初めて障がい者
総合支援法に基づく
就労継続支援B型事業所



7



- ・職員と一緒に畑で出荷用のピーマンを
作っている



8



- ・ 不要になった着物を切って機織り機で成人式用のランチョマットを作っている
- ・ 着物で布ぞうりを作成
- ・ クラフトバックを作ってイベントで販売



9

☆具体策（提言）

- ① 農福連携の取り組みをする
- ② チャレンジドの集いの場をつくる

10

○ 農福連携とは？

チャレンジド等の農業分野での活動を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取り組みのこと。



11

☆提言 1

～農福連携の
取り組みをする～

12

『農福連携の取り組みを行う利点』

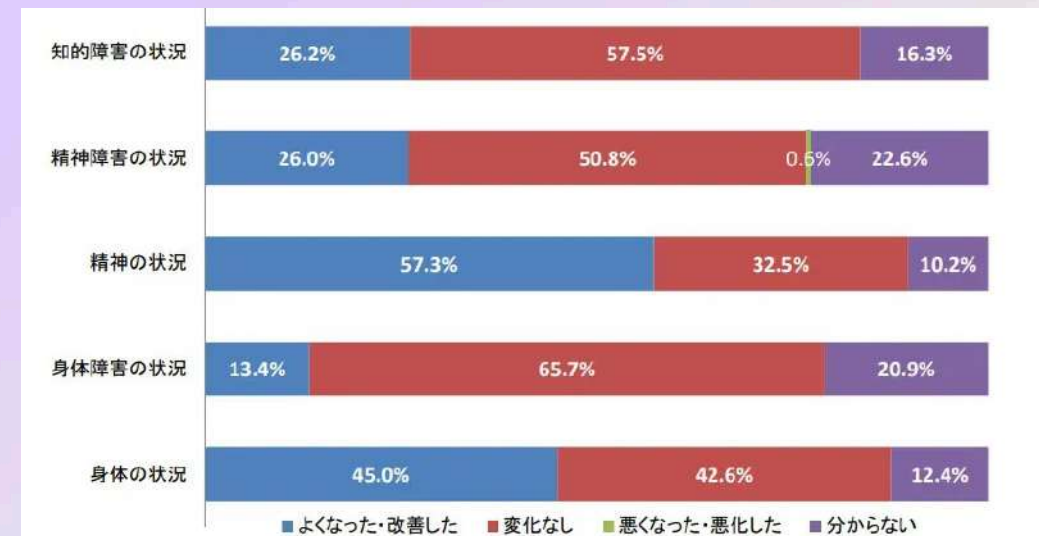
- ・ 農業就業人口の減少と高齢化問題の解消が期待される！
- ・ 障がい者雇用に関する課題の解消が期待される！



新たな担い手の確保ができ、
五ヶ瀬の農業が活性化する！

13

・ 障がい者就労施設のスタッフに対する調査結果



出典】「農と福祉の連携についての調査研究報告
(平成26年3月特定非営利活動法人日本セルフセンター)

14

・ チャレンジド本人に対する調査結果



出典】「農と福祉の連携についての調査研究報告
(平成26年3月特定非営利活動法人日本セルフセンター)

15

『農福連携の取り組みを行う課題点』

- ・ 適切な技術指導が求められる
- ・ 安全雇用の確保と技術取得が必要
- ・ 農家さんとの連携を上手く取る必要がある

16

～農福連携の成功例～

17

社会福祉法人御陽会
サポートハウス明星学園
就労継続支援B型
(熊本県山都町)

18

～事業所について～

年齢や体力などの面で雇用契約を結んで働くことが困難な方が、軽作業などの就労訓練を行うことができる福祉サービス。作業の対価である工賃をもらいながら、自分のペースで働くことができる。

19

《取り組み内容》

- ・ 栗拾い
(栗の木剪定後の絵枝片付けと施肥)
- ・ 椎茸の菌打ち
- ・ キャベツや大根畑の除草
- ・ ピーマンの選別
- ・ 薪束作り
- ・ ブルーベリー収穫 etc.

20

ちなみに…

収穫したブルーベリーを使用して
ジャム・ジュース・ワインなど
を作っている



<https://myoujyou.com/72/>

21

仕事内容によって人数は変わるが
多い時：10人以上
少ない時：3人ぐらい
※職員は含めない

22

この事業所での取り組みの成果

○チャレンジド

→地域貢献、工賃向上、
コミュニケーション能力の向上

●農家

→人手不足の解消、労働力の確保
工賃を支払えばいいので他の人を雇
うより安い

23



24

～私の考える農福連携～

25

①農福連携専用の 窓口を設置する

Point !

あらかじめ農家さんがして欲しい作業、チャレンジドはどういう作業ならできるのかを把握しておく。



26

②農家とチャレンジ ド（障がい者施設） に向けて宣伝（発信） &募集

27

宣伝&募集方法



28

③参加したいと立候補して
もらったところを
お互いに一つずつ繋いでいく

Point !

《個人の場合》
窓口自体に就労支援の職員
(ジョブコーチ) をあらかじめ
配置しておく



29

④施設職員と農家など
農福連携に関わる人たちと
綿密な打ち合わせを行う

Point !

作業内容・労働条件・
労働環境・工賃など

30

⑤お互いの意見が合致
すれば詳細を決める

施設側（職員）が
農家さんの提示する作
業が難しすぎて納得が
いかない！

農家さんが施設側
（職員）の意向に添え
ないから受け入れるのを断
念するしかない！

31

32

⑥もう一度3番目からやり直す

③参加したいと立候補して
もらったところを
お互いに一つずつ繋いでいく

Point!
個人の場合
窓口自体に就労支援の職員
(ジョブクーラー) をあらかじめ
配置しておく



④施設職員と農家など
農福連携に関わる人たちと
綿密な打ち合わせを行う

Point!
作業内容・労働条件・
労働環境・工資など

⑤お互いの意見が合致
すれば詳細を決める

33

農業体験終了後…

参加者全員にアンケート調査を実施



参加者全員に五ヶ瀬町の特産品や商
品券か何かをプレゼント



34

アンケート調査を 実施することで…



- ・農福連携の取り組みに対する効果が把握できる！
- ・取り組みに対する改善策とヒントが得られ次に繋がられる！

35

アンケート調査後の動き

この取り組みをしての改善点を
見つけられる話し合いの場を設ける



36

☆提言 2

～チャレンジドの 集いの場をつくる～

37

【チャレンジドの集いの場をつくる利点】

日々の生活に行きずらさを感じていたり、誰かに話を聞いてもらいたいや気分転換をしたいなどといった思いがあったりする障害がある方々のほっとできる場になる。



38

チャレンジドの 集いの場の事例

39

ピアサポートサロン トライル 兵庫県宝塚市

心や体に障がいのある方の居場所としてピアサポーター養成講座やカウンセリング等のピアサポート事業を行っている



40

～私の考える集いの場～

41

対象

- ・ 障がい者施設に通う障がいがある方
- ・ 障がい者施設には通っていないが何らかの障害を抱えていて生きずらさがある方

+

障がい者施設の職員と障害を抱える方の家族も
意見交流の場をつくる

↓

互いに障害がある方との接し方について学べる機会になる！

42

お知らせの仕方

- ・ 五ヶ瀬町内や他の地域の障がい者福祉施設や病院などにチラシやポスターを配布して、場所や日時、内容などをお知らせする。

（その場所に参加希望者用に丸をつけてもらい、
参加人数の確認ができる紙を置いておく）

43

集いの場の1日の流れ

- ・ 参加希望者に各自で、活動場所に来てもらう
- ・ そろい次第集いの場開始

- ・ 現地解散



44

農福連携の取り組みと同じく

参加者全員にアンケート調査を実施



参加者全員に五ヶ瀬町の特産品や商品券か何かをプレゼント

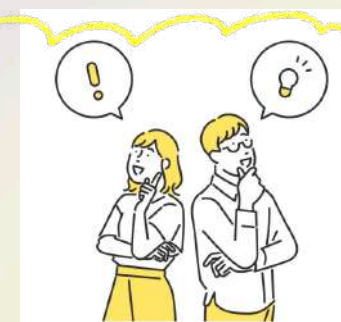


45

アイデア①

もっと学びがたくさんある集いの場にするために…

農福連携に協力してくれる農家さんも呼んでチャレンジドを受け入れる時の不安を改善できる場に！



46

アイデア②

チャレンジドの場合

障がいによっては自分をオープンにしたくない人もいる



【工夫】

- ・参加するときに仮名を使う
(自分が使いたい名前を名札に書く)
- ・グループを作り、何箇所かに分かれて話すようにする
- ・あらかじめ話してもらう内容を主催者の方でいくつか決めておく
内容例) 自分の趣味や好きな〇〇など会話が弾みそうなもの

47

アイデア③

保護者・職員・農家の場合

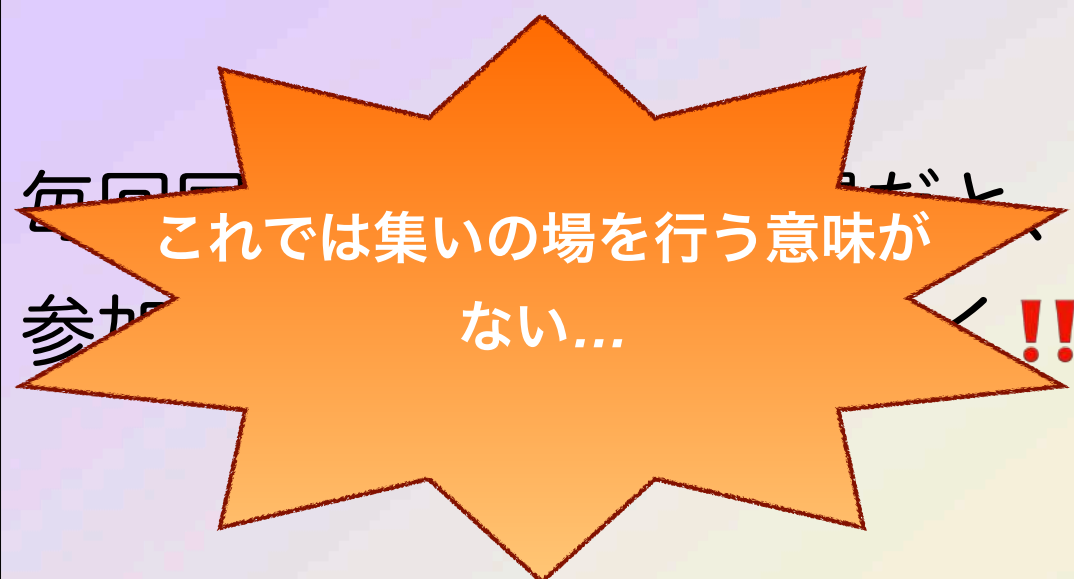
【工夫】

- ・保護者（職員・農家）の名札は苗字だけを書いてもらう
- ・障がいの内容に限らずグループ分けをして、何箇所かに分かれて話してもらう
(内容) 悩み、アドバイスしてほしいこと
普段気をつけるようにしていること
- ・農家さんも混じって話を聞いてもらう



48

追記…



49

《チャレンジドの方》

カウンセラーの方を呼び個別に
カウンセリング・相談会の実施

《保護者・職員等》

講師の方を呼んで障がいについて
の講演会を受ける

50



51

まとめ

52

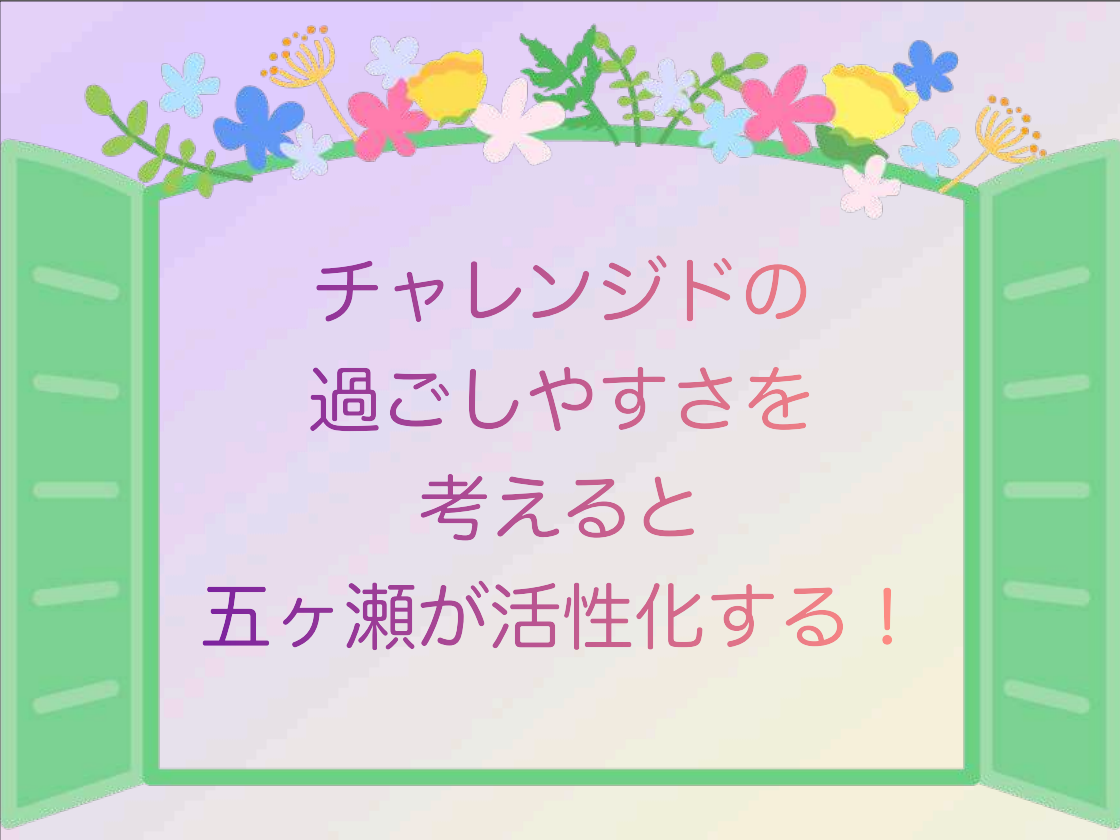
- ・農福連携の実施

→チャレンジド雇用の問題や
チャレンジド自身の自信や生きがいの
創出につながる！

- ・集いの場の実施

→多くの学びが得られたり、
気持ちをリフレッシュできたり、
ほっとできるようになる！


53



チャレンジドの
過ごしやすさを
考えると
五ヶ瀬が活性化する！

54

チャレンジドの過ごしやすい町
をつくることは...



SDGsの項目10と
つながる！

55

ご清聴ありがとうございました。
ございました。

56